



ブリーフィング資料

<決勝レースについて>

- 自分の決勝スターティンググリッドを事前に掲示板に貼りだされている予選リザルトで確認しておいてください
- サイティングラップに間に合わない場合や、スタート時にグリッドよりスタートできない場合はビットスタートとする
- サイティングラップ終了後、自身のスターティンググリッドに到着後はエンジンを停止してください
- その後、選手紹介 → エンジンスタート(74は保護者OK) → グリーンフラッグ → **ウォーミングアップラップ1周** → 決勝レーススタート
- ジャンプスタート(フライング)(※シグナル点灯後)があった場合でもスタートの仕切り直しはせず、反則スタートしたライダーのみにペナルティーが科せられる
- シグナル点灯後にタイヤが動いた時点でペナルティー対象とする ※グリッド線を越えていなくてもタイヤが動いた時点でペナルティー対象となる



【※注意】 フライングした者に対し、ゼッケンナンバーを記載したフライングボードをメインポストにて1周回提示するが、ペナルティーはレース終了後の正式結果に**+5秒加算**とする為、そのままレースを続行してよい。

※各セッションのチェッカー後は第2ショートカットのみを使用してビットへ戻る。

※決勝の優勝者は第2ショートカットにてオフィシャルからチェッカーフラッグを受け取りウイニングラン → その後、第2ショートカットでオフィシャルヘフラッグを返却
※レース後の車両保管はスタッフの指示に従って保管場所までお持ちください。その際、該当ライダーのビットクルーは保管場所へスタンド持参のご協力をお願いします。

<決勝レースの成立について>

- レースは1位の者が規定周回数の3分の2以上を周回した時点で成立とする。(12周=8周回で成立)
従って3分の2以上を周回した場合の赤旗などによる途中中断はその前週の着順をもって成立とする。3分の2未満で中断した場合、中断以前の着順、ペナルティー等すべて無効とし規定周回数により再スタート。再スタート時も**ウォームアップラップを1周回**行った後にシグナルスタートとする。
- 競技長が競技続行不可能と判断した場合中断の前週の順位をもってレース終了とする。この場合シリーズポイントは規定の半分(小数点以下四捨五入)を与える。
- 赤旗の原因となった参加者はDNF扱いとなる

<決勝レース終了後の車両保管について>車両保管場所はブリーフィングにて通知

- ブリーフィングにて通知された各クラス上位3名まで車両保管をする (車両保管対象となったライダーはスタンドのご用意をお願いします)
- 車両保管解除は場内アナウンスにて随時放送いたします ※違反を発見した場合はいかなる理由であっても失格とする
- ※レース後の車両保管はスタッフの指示に従って保管場所までお持ちください。その際、該当ライダーのビットクルーは保管場所へスタンド持参のご協力をお願いします。

<計測器について>トランスポンダーは、下部黒色面からタイム計測に必要な電波を発信していますので取り付け方法を必ず守ってください。

- ランプの点滅確認後、天地(上下)を間違えないように正しい方向で車両に装着後、βピンは落下防止のため、必ず結束バンド等でとめてください。
- 計測器の取り付けは本体と一緒にホルダーを貸し出しますので、持ち帰りの無いように本体と一式でご返却下さい。
- 74Daijroの計測器取付位置はスイングアーム右側のみとする。
- 計測器は地面から50cm以内の高さに取付(メーカー推奨30cm)
- ゴールの判定はチェッカーを受けた順で決定する。

順位の判定は計測機がゴールラインを通過した着順にて決定する。同着の場合は予選順位の結果にて決定する。

・マイポスターの使用は事前に届け出があれば認めます。但、充電不備や計測トラブルについては自己責任となります。

・トランスポンダーは以下の理由で測定できない場合は**ノータイム**となります。

黒色面を下向きに天地正しく取り付けしていなかった場合、地面から50cm以内の高さに取り付けしていなかった場合

<その他>

- コース上で転倒した場合でもショートカットの使用は禁止とする。マシントラブルなどの場合のみエスケープゾーンへの進入を認める
- コース上でマシンが停止し、再スタートができない場合はすみやかにオフィシャルの指示にしたがい、コース外へと避難する
- Rクラス・125スクーターは、決勝レース中、2回までは規定タイムを超えてもよい(3回目は賞典外となる) 予選で規定タイムを超えた場合はカウントしない
- Rクラス・125スクーターはタイム規定がありますが、タイム調整の為の急な減速はペナルティーが科せられる場合がある(※特にストレート区間での減速は禁止)
- 74Daijroクラスは予選、決勝の2回、全ライダー体重測定あり(体重違反のペナルティー → 予選での違反=決勝最後尾スタート。決勝での違反=失格)
- プラトホーム(サインボードエリア)には登らないこと。サンダルやヒールでのサインボードエリアへの進入は禁止とする
- ウェットコンディションの場合でも、周回数削減はしない(ただし、大荒れな天候などの際は、周回数を減算してレースを開催する場合がある)
- 走行中はアゴ紐、スーツのファスナーが完全にしまっていること。走行中はシールドを完全に閉めて走行すること(ブラッグフラッグの対象となりますので注意)
- アスファルト上にガソリン・オイルを漏らした方は理由にかかわらず、1件につき30,000円を申し受けます**
- サーキット設備に対して被害を与えた場合は、実費にて弁償していただきます(コースバリア、フェンス、理由にかかわらず計測器落下1個55000円請求)
- 車載カメラは車検時に申請書を添えて「車載カメラ取付車検」をうけてください。車検後の申請はレース運営に支障をきたしますので必ずお守りください。取付申請を車検時に提出せずにレースに参加した場合、申告義務違反でそのライダーに対してタイムの加算または失格とします。**

<ペナルティーについて>

喫煙は、必ず喫煙所をお願いします。ガソリンやオイル、引火しやすいものが多くあり危険です

- フライング = 決勝正式リザルトに**+5秒加算**
- フラッグ無視 = 順位降格
- ビットロード速度超過 = 1回目: 厳重注意 2回目: 失格
- 危険行為 = 厳重注意またはタイムの加算または失格
- 重量規定 = 予選→決勝最後尾スタート 決勝→失格
- 音量規定 = 1回目: 厳重注意 2回目: 失格(出場不可)
- ※ **イエローラインカット違反 = 厳重注意**

* 参加者の皆さまへお願い *

練習走行に参加されない場合は計測チェックができませんのでマシンに計測器を取り付けた状態でコントロールラインを通過しセンサーチェックをお願いいたします。
公式予選開始時刻までに余裕をもって行ってください。



車載カメラ搭載申請書

車検と同時にこの用紙をお持ちください

大会名： 2024 ライディングスポーツ生駒杯

2024年 10月13日

大会事務局 殿

本大会において、競技車両への車載カメラを搭載したく、下記内容を厳守しますので搭載許可をお願い致します。

ゼッケン	参加クラス	ライダー名	使用目的

車検時に安全基準に基づき装着されている場合のみ取付可能

< 誓約書 >

ヘルメット及び装備品にウェアラブルカメラを取り付けないことを誓約いたします。
車載カメラを競技車両に安全上確実な方法で取り付けを行ない、取り付けについては車検長の指示に従います。
撮影した映像は個人の私的利用とし、競技の判定や、映像を用いての他の競技者を批判する行為はいたしません。
車両回収および車両撤去時において、万が一車載カメラが破損した際も、一切の損害賠償責任は問いません。
上記の誓約に違反した場合は、主催者の課す罰則、主催者からの依頼事項に従うことを誓約いたします。

個人が特定できる他人の写真・動画の撮影はご遠慮ください。また他の参加者やサーキット来場者の個人が特定できる写真／映像の撮影は一切禁止です。意図せず他者が映り込んだ写真／映像をネット等に公開する場合は、モザイク処理など個人プライバシーへの配慮をお願いします。